

# 熊本城 復興に向けて

## 〈8〉明治22年「金峰山地震」からの復旧

地震から3日後の明治22年7月31日に第六師団監督部長から陸軍大臣に提出された「震災損害届」によると、石垣の大規模な破損は激烈な震動のせいもありますが、明治10年の西南戦争で天守や御殿が火災となり石材が焼けて石質が脆くなっていたこと、さらに6月からの長雨で雨水が土中に浸み込んで地盤が緩んでいたことが崩壊の原因と結論付けています。火災で脆弱となった石材は現在でも天守周辺の各所で確認できます。本来角ばっていた石材の周縁がタマネギの皮を剥ぐように落下して丸く変形していて、こうした石材は今回の平成28年地震でも、震動によって擦れ合っただけで簡単に剥離して落下しています。

地震後の第六師団の対応をみると、崩壊の可能性がある危険な石垣は押し崩すなどして対応していましたが、9月ごろには多額の修理費にもかかわらず、従来通りの城に修復するための復旧に着手します。10月には城内の石垣修築の請負募集がありました。業者間では「従来の石材をそのまま用いて修理せよ」という条件であるが、(熊本城の石材は)大石で普通の作業員ではとても不可能だという噂が立っています。当時の石垣は技術的には江戸時代の石垣技術の延長にありましたが、清正による築城期の石垣(自然石を粗割りした不揃いの大きな石材を使用)とは大きく異なり、「間知石」と呼ばれる立方体や四角錐状に加工した規格材を積み上げる技術に変貌していました。こうした石材は小型化が図られていて重量も軽いので扱いやすく、形状が単一であるため、熟練度が高なくても手早く積めるという利点がありました。

明治になり陸軍が駐留することになった熊本城では古い石垣も大事にされましたが、駐屯地に必要な新規の石垣工事も行われています。その好例となるのは明治8年頃に陸軍病院の玄関前(現熊本医療センター駐車場南斜面)に構築されている高さ12m天端長



▲耕作櫓門跡のタマネギ状剥離のある石垣



▲明治8年頃陸軍病院玄関前に築造された「清正流石垣」

16m根元長26mの石垣です。この石垣は前述の間知石を使ったもので、反りを持たせた石垣となっていて、明らかに清正時代の石垣をモデルに再現したものです。熊本鎮台の熊本城に対する熱い思い入れをうかがわせます。

地震で崩壊した石垣の修理はこの明治時代の石積み技術が用いられています。清正時代の石垣とははっきりと区別できるので、明治の崩壊箇所の8割が今回の地震の崩壊箇所と重複することが判っています。小天守穴蔵、数寄屋丸御門、奉行丸南東隅、櫓方北側などの石垣では、元の高さに戻さずに高さを少し省略し、南大手門の東側櫓台のように通行の利便を考慮して根元から石垣を撤廃した事例もあります。しかし6年後には復旧を完了したとみられ、その実績を示す写真も7枚ほど残されています。

この時の第六師団の頑張りがなければ、特別史跡となる現在の熊本城跡は存在しなかったことでしょう。

(熊本城調査研究センター 鶴嶋 俊彦)

— 人権協30周年記念 —

無料



## 池上 彰 防災を 人権の観点から 考える

熊本市人権啓発市民協議会(人権協)が、設立30周年を迎える記念講演会。ジャーナリスト池上彰さんに分かりやすく「人権」について講演いただきます。

日時 来年1月10日(水) 午後2時~(開場:午後1時~)

場所 市民会館シアーズホーム夢ホール大ホール

対象 どなたでも

定員 1,400人(抽選)

申込み 12月14日(必着)までに住所、参加者全員の氏名(4人まで)、電話番号をはがきかホームページ(<http://www.kab.co.jp/>)またはファクス(096-359-9300)で〒860-8516 西区二本木1丁目5-12池上彰人権講演会事務局へ

詳しくは、池上彰人権講演会事務局(ファースト内) ☎096-200-8538 平日午前10時~午後5時)へ。

※当選者(複数申込時は代表者)へは12月25日までに参加券を送ります。当日必ず持参してください。

(人権推進総室 ☎096-328-2333)

熊本県出身

## 内村光良さん から皆さんへ



先日、熊本市内で、熊本の復興を応援するNHK「LIFE!」のスペシャルイベントが開催されました。その中で、座長・内村光良さんから皆さんにメッセージをいただきました。

熊本地震が起こったとき感じたことを教えてください

リアルタイムで揺れている熊本の映像をテレビで見、すごく衝撃を受けました。あんなに揺れた街なかや熊本城は初めて見ました。

今回のイベントにどんな気持ちで臨みましたか

地震で落ち込んだ熊本の皆さんを、僕たちのコントで笑ってもらって、少しでも元気になってもらいたいという想いでした。

熊本の復興について  
メッセージを!

先日、番組の撮影で熊本城に行きました。間近で見て、地震で傷ついていながらも、すごく雄大で気高いものだ改めて感じました。熊本の皆さんが復興のシンボルとして熊本城の復旧を願ってらっしゃると同様に、僕も一日も早い復興を願っています。



(写真提供: NHK)

NHK総合テレビで放送!  
熊本の地域ネタ盛りだくさん。

「LIFE! 熊本に捧げるライブ」

九州・沖縄地方…12月15日(金)午後7時半~7時59分  
全国…12月26日(火)午前0時10分~39分  
※くまもとシティ・フィルムオフィス(文化振興課内)撮影協力

熊本市コールセンター

休日在宅当番医、イベント情報、区の窓口業務など、いつでもお尋ねください

午前8時~午後9時(年中無休)

さあみんな知ってるひごまる

ひごまるコール ☎096-334-1500

FAX 096-370-2002 電子メールアドレス 1500@higomaru-call.jp

ホームページ ひごまるコール

配布に関するお問い合わせ

市政だより配布センター

☎0120-666-659

午前8時~午後8時  
(土・日、祝日は除く)



先月、数日間お休みをいただきました。入院は初めてのことで戸惑いや不安を感じましたが、高校時代からの古い友人たちから心温まる励ましをもらい、彼らのありがたさを身にしみて感じました。「絆」とは一朝一夕には築けないものですね。今後与えて頂いた恩を忘れず次世代に繋ぎます。(H)

再生紙を使用しています